



敬称略

★今日30日、国会横の憲政記念館で超党派議員有志一同、TPPを考えろ国民会議が主催する「9月APECでのTPP交渉参加表明を阻止する超党派議員・国民集会」が開かれる。来月のAPECは米オバマ大統領が参加しないことが分かっており、首相・野田佳彦のTPP参加表明はないといわれているが、この集会の勢いはすさまじい。

★司会に社民党・阿部知子、共産党・紙智子が。開会あいさつには同会議副代表世話人・民主党・元農水相・山田正彦が。そのあとには1人2分の配分で自民党元幹事長・加藤紘一、国民の生活が第一国対委員長・鈴木克典、公明党元農水副大臣・石田祝稔、共産党委員長・志位和夫、社民党党首・福島みずほ、新党きつな代表・内山晃、国民新党

代表代行・下地幹郎、新党大地・真民主代表代行・松木謙公、みどりの風元農水政務官・舟山康江、減税日本元法務委員長・小林興起、新党改革幹事長・荒井広幸、新党日本代表・田中康夫、無所属・亀井静香のあいさつが続く。最後は民主党・梶原康弘が決議をし、自民党・稲田朋美のガンパロ1コールで締める。

★「社民、共産が並んで司会をし、最後は対極にいたるといわれる稲田が立つ会合なとまず見たことではない」とは政界関係者。顔を赤らめると見ても政党でいえば、みんなの党とちがいがれ日本以外のすべての党がTPPに反対しているという様相だ。となるとその2党と野田内閣、注目の大阪維新の会がTPP推進に賛成ということになる。一國論を二分するというより、ほとんどの政党が反対(参加者の1人)といえそう。これだけ見ても政党の党議拘束など政界には不必要に思える。既に政界再編は始まっているといえそうだ。

# 共産から民主までTPP阻止

(K)